

証券コード：9305

第 **119** 期

中間報告書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日



横山大観〈心神〉 山種美術館蔵

株式会社 **ヤマタネ**



代表取締役社長
山崎元裕

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成29年9月30日をもちまして、第119期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに当第2四半期連結累計期間の状況についてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、雇用情勢が改善し個人消費が堅調に推移したことに加え、世界経済の緩やかな回復を背景に輸出や設備投資も持ち直し、景気は緩やかな回復基調が続きました。

かかる状況のもと、物流業界におきましては、国内の荷動きに関しては、景気の回復基調が続く中、消費関連や生産関連の貨物が堅調に推移したことから、国内の総輸送量は2年連続で増加しました。また、国際貨物についても輸送量・取扱金額ともに前年を上回りました。

コメ流通業界におきましては、飼料用米の増産等により28年産米の生産調整目標（減反目標）が3年連続

で達成されました。この結果、主食用のコメ取引の需給は引き締まり、取引価格は上昇基調が続きました。特に業務用等の低価格米に逼迫感があり、高級ブランド米との価格差が縮小しています。

情報サービス業界におきましては、IoTやAIといった新規技術の導入の動きが強まり、IT関連投資は増加を続けております。

不動産業界におきましては、三大都市圏を中心に活発な取引が続きました。また、賃貸オフィスビル市場も都心部を中心に空室率の低い状況が続いており、賃料水準も上昇傾向が続きました。

このような状況下におきまして、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、食品部門・情報部門の増収により、売上高は264億43百万円（前年同期比4.9%増）となり、営業利益においても23億28百万円（同3.1%増）となりました。この結果、経常利益は21億22百万円（同5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億53百万円（同10.0%増）となりました。

営業の概況

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年産米の価格動向の収益面への影響や各部門の経営環境の厳しさも予想されることから、平成29年5月12日に発表した業績予想の通り、売上高は514億円（前期比2.4%増）の増収ながら、営業利益は42億90百万円（同6.4%減）、経常利益は38億60百万円（同5.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は24億60百万円（同6.1%減）を予想しております。尚、配当金につきましては、期末配当として1株につき50円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

企業集団の部門別営業の概況

(1)物流部門

物流部門では、国内の荷動きがやや戻り全般的には堅調に推移したものの、一部大口荷主との取引内容の見直し等の影響により、保管料・不動産賃貸料等が減収となったことから、売上高は104億28百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は15億49百万円（同5.8%減）となりました。

(2)食品部門

食品部門では、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は、主要産地である東北・関東を中心に取引価格の高騰から取扱数量がのびず12千玄米トン（前年同期比7.6%減）となりましたが、量販店・外食向けである精米販売は36千玄米トン（同4.1%増）と増加しました。この結果、総販売数量は49千玄米トン（同0.9%増）となりました。売上高は、コメの販売数量が微増に留まる中で、需給の引き締まりにより取引価格が上昇したことから130億93百万円（同11.3%増）となりました。営業利益につきましては、精米販売が好調だったことに加え、業務効率化等によるコスト削減効果も加わり2億78百万円（同340.7%増）となりました。

(3)情報部門

情報部門では、基幹系システムを中心とした開発・保守業務が堅調に推移し、売上高は11億11百万円（前年同期比7.7%増）となりましたが、営業利益は、棚卸用ハンディーターミナルのレンタル業務の減収等により92百万円（同6.5%減）となりました。

(4)不動産部門

不動産部門では、大口テナントの入れ替わりに伴う稼働率の低下等により、売上高は18億10百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は8億1百万円（同11.0%減）となりました。

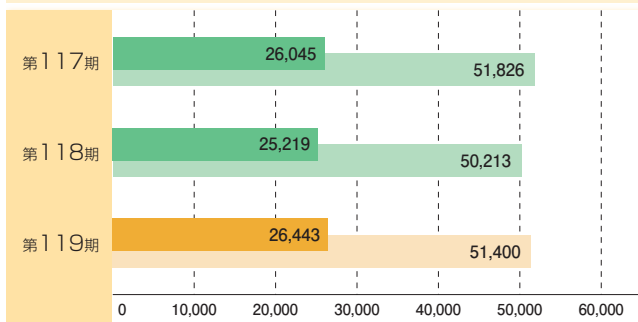
財務ハイライト

第2四半期：■ 通期：■ 通期予想：■

<連結>

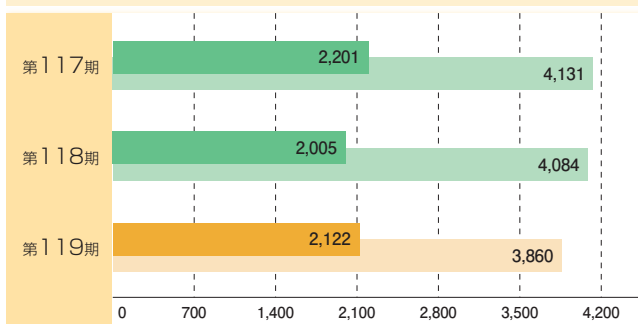
●営業収益

(単位：百万円)



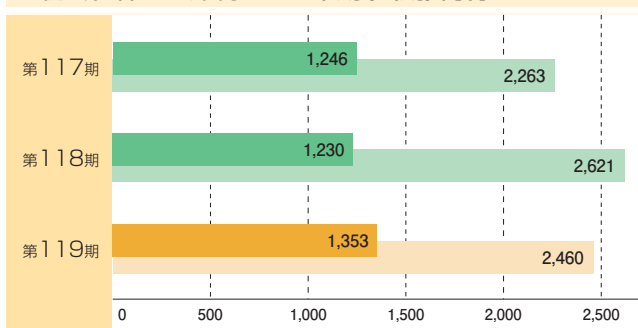
●経常利益

(単位：百万円)



●親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



第2四半期連結財務諸表

★第2四半期連結貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

(単位：百万円、未満切捨て)

科目	金額
資 産 の 部	
流動資産	10,681
固定資産	82,590
有形固定資産	71,322
無形固定資産	1,107
投資その他の資産	10,160
繰延資産	371
資産合計	93,642
負 債 の 部	
流動負債	12,544
固定負債	43,935
負債合計	56,480
純 資 産 の 部	
株主資本	28,593
資本金	10,555
資本剰余金	3,694
利益剰余金	16,158
自己株式	△ 1,815
その他の包括利益累計額	5,848
その他有価証券評価差額金	3,548
土地再評価差額金	2,361
退職給付に係る調整累計額	△ 61
非支配株主持分	2,721
純資産合計	37,162
負債及び純資産合計	93,642

★第2四半期連結損益計算書

(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

(単位：百万円、未満切捨て)

科 目	金 額
I. 営業収益	26,443
II. 営業原価	22,430
営業総利益	4,012
III. 販売費及び一般管理費	1,684
営業利益	2,328
IV. 営業外収益	145
V. 営業外費用	351
経常利益	2,122
VI. 特別利益	16
VII. 特別損失	1
税金等調整前四半期純利益	2,138
法人税等	649
四半期純利益	1,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	135
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,353

★第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

(単位：百万円、未満切捨て)

科 目	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,526
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 165
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,577
IV. 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	782
V. 現金及び現金同等物の期首残高	2,295
VI. 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,077

★セグメント情報

[報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報]

当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

(単位：百万円、未満切捨て)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	第2四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 2
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連			
売上高							
外部顧客への売上高	10,428	13,093	1,111	1,810	26,443	-	26,443
セグメント間の内部売上高又は振替高	208	-	133	16	358	△ 358	-
計	10,637	13,093	1,244	1,826	26,801	△ 358	26,443
セグメント利益	1,549	278	92	801	2,721	△ 393	2,328

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△396百万円、のれん償却額△0百万円及び未実現利益調整額4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、第2四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

多様な人材が活躍するこれからのヤマタネへ 女性活躍推進プロジェクトが始動



当社は今年1月、女性活躍推進プロジェクト「ふうさん（※）プロジェクト（以下「PJ」）」を始動しました。2020年3月までに、女性管理職の割合を現在の6.9%（11月末現在）から10%に引き上げることを目標に、様々な施策を検討しています。

2016年4月の女性活躍推進法の施行を受け、当社は上記の定量目標とともに、「対象となる女性に管理職育成を目的としたキャリア教育を実施」「女性の少ない職種への積極的な採用」を行うことを公表しました。

同PJでは、これらの目標を達成するための施策を検討しています。これまでに、「社内体制」「意識改革」「人事教育制度」「ワークライフバランス」の4つを軸に、女性が活躍できる雇用環境の整備に向けた各種施策の検討を行っているほか、将来の管理職などを対象としたキャリア研修や講演会、男性社員との意見交換会なども実施。今後は、これらを継続・拡充していくための仕組みづくりに取り組めます。

価値観が多様化し、答えのない時代に突入したいま、当社においても、多様な人材の活躍が欠かせません。同PJの活動を通じ、新たな時代における当社のあり方を模索してまいります。

※「ふうさん」は、創業者の山崎種二の妻「ふう」のことで、種二の活躍を支えた聡明な女性像は、現代女性の活躍にも通じることから、象徴的存在として名づけました。今年度は8名の女性社員を中心に活動しています（写真は東京圏勤務のメンバー）。

山種美術館 展覧会情報

近代日本画の第一人者、横山大観よこやまたいかん（1868-1958）。生誕150年と没後60年にあたる本年、当館所蔵の大観作品全点を一挙公開する展覧会を開催します。大観は、日本美術院を活躍の場とし、生涯にわたって新たな日本画の創造につとめ、国民的画家としての評価を確立しました。大観は山崎種二が最も親しく交流した画家のひとりでした。本展では、初めて挑んだ水墨画巻《楚水の巻》、《燕山の巻》や、《作右衛門の家》をはじめとする代表作を含む、当館の大観コレクション全40点を一堂に展示します。さらに、大観と同様に種二と交流をもった、当館ゆかりの画家、安田鞞彦やすだゆきひこ、前田青邨まえだせいぞん、東山魁夷ひがしやまかいなどの作品もあわせてご覧いただけます。

展覧会名	【企画展】生誕150年記念 横山大観 一東京画壇の精鋭一
会期	2018年1月3日(水)～2月25日(日)
会場	山種美術館
主催	山種美術館、朝日新聞社
開館時間	午前10時から午後5時（入館は4時30分まで）
休館日	月曜日 （但し、1/8(月)、2/12(月)は開館、1/9(火)、2/13(火)は休館）
入館料	一般1,000円・大高生800円・中学生以下無料
お問い合わせ先	03-5777-8600 （ハローダイヤル 電話受付時間：8:00～22:00） URL http://www.yamatane-museum.jp/

今後の展覧会

【企画展】桜 さくら SAKURA 2018 一美術館でお花見!一
2018年3月10日(土)～5月6日(日)

【特別展】琳派 一俵屋宗達から田中一光へ一（仮称）
2018年5月12日(土)～7月8日(日)

表紙の絵：横山大観《心神》1952年 絹本・墨画淡彩 山種美術館

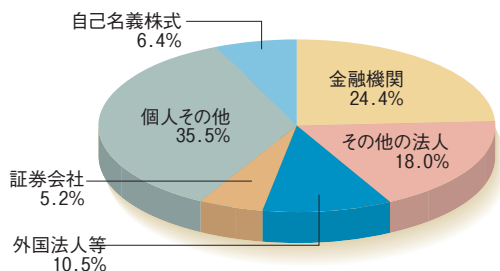
株式の状況 (平成29年9月30日現在)

(1)発行可能株式総数	20,000,000株
(2)発行済株式総数	11,344,181株
(3)株主数	8,059名
(4)大株主 (上位10名)	

株主名	持株数 千株	出資比率 %
株式会社三井住友銀行	517	4.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	444	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	429	4.0
山崎元裕	415	3.9
東京海上日動火災保険株式会社	311	2.9
SMB Cフレンド証券株式会社	300	2.8
清水建設株式会社	300	2.8
ヤマタネ従業員持株会	268	2.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	242	2.3
東京瓦斯株式会社	200	1.9

- (注) 1. 当社は自己株式718,975株を保有しております。なお、出資比率は当該自己株式を発行済株式総数から控除して算出しております。
 2. 持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。
 3. 出資比率は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

所有者別株主分布状況 (平成29年9月30日現在)



従業員の状況 (平成29年9月30日現在)

当社	前期末比	連結	前期末比
317名	7名増	769名	8名増

役員 (平成29年11月30日現在)

取締役社長	山崎元裕
取締役副社長	高川修治
専務取締役	角田達也
常務取締役	鈴木康道
取締役	馬場敏行
取締役	曾我部誠
取締役	平田実
社外取締役	齋藤彰一
社外取締役	岡伸浩
常勤監査役	土屋修
社外監査役	清水満昭
社外監査役	内藤潤



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル) (インターネットホームページURL) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
【株式に関する住所変更等のお手続きおよびご照会について】 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。	
【特別口座について】 株券電子化前に株式会社証券保管振替機構<ほふり>に株券を預託されなかった株主様の株式につきましては、三井住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されています。特別口座に記録された株式を売却するためには、株主様があらかじめ証券会社に開設した口座に株式を振り替える必要があります。特別口座についてのご照会やお手続きは、上記の電話照会先をお願いいたします。	
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告する。 (http://www.yamatane.co.jp/)
上場証券取引所	東京証券取引所

株式会社ヤマタネ

〒135-8501

東京都江東区越中島1丁目2番21号

電話 東京 (03) 3820-1111 (代表)

ホームページアドレス <http://www.yamatane.co.jp/>